感動をデザインします
TWINBIRD

地上デジタルチューナーボックス　VB-AF63

工事説明書

工事上の注意

はじめに…

●施工業者様及び本製品をお使いになるお客様への危害並びに財産への損害を未然に防止するために、この「工事説明書」を工事前によくお読みのうえ、正しく、安全に取付工事を行ってください。

●**メンテナンス用リモコンをご準備ください。**
施工後の動作確認は必ずメンテナンス用リモコンを使用してください。

同梱のリモコンは包装を破かずにお客様にお渡しください。
お客様には、「B-CASカード使用許諾契約約款」をお読みいただき、**同意の上**で**包装を開いて**いただくようご説明をお願い致します。その後でリモコンを使ってお客様に使用方法を説明してください。

●表示の説明

⚠**危険**	「死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。	⚠**警告**	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	⚠**注意**	「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

⚠ 施工前の注意事項

●本製品は、日本国内用です。海外では使用できません。
●本製品は、業務用（車両・船舶等への搭載）として使用しないでください。湿気や塩分を含んだ空気が多い場所は錆や故障の原因になります。
●本製品は、BS／CS等の衛星放送の直接受信には対応していません。
●地上デジタル放送をUHFアンテナで受信した信号（13～62チャンネル）とCATVでパススルーや周波数変換パススルーで送られる信号（1～63チャンネル）は受信可能です。トランスモジュレーション方式のCATV信号には対応していません。詳しくはCATV放送会社へお問い合わせください。

1. 工事上の注意

- 本製品は精密な電子機器ですので、チューナーボックスの分解、ほこりやゴミの多い場所への取付け、濡れた手での作業等は行わないでください。
- チューナーボックス施工後に、雨やほこりが当たる可能性のあるときは、その可能性が無くなるまでの期間は、雨水防護用の簡易ケース等をかぶせてください。

2. 電源（AC100V）工事

- AC100V配線は、電気工事士の資格をお持ちの工事業者の方が確実に行ってください。
- AC100V電源には、必ず漏電ブレーカー（漏電遮断器）および屋内開閉器（ブレーカー）を設置してください。
- AC100Vの配線工事は、ブレーカーを落とした状態で行い、通電は全ての工事が終了するまで行わないでください。

3. アンテナ線の工事

- アンテナケーブル配線中に遠くで雷が鳴り出したときは、感電の危険性がありますので、速やかに作業を中止し、雷が止むのをお待ちください。
- お客様と本製品を雷から守るため、アンテナと本製品の間に必ず保安器を設置してください。
- 本製品のアンテナ端子に供給される信号強度が60～80dB（μV）の範囲になるように調節してください。（ブースターやアッテネーター等を使用）
- アンテナ線の芯線と編組線間にDCまたはAC25Ｖ以上の電圧が加わるとチューナーが破損することがありますので、作業前に上記の電圧が加わっていないことを確認してください。

4. テレビの取付け

- 8型浴室液晶テレビの工事説明書をご覧ください。

TWINBIRD　ツインバード工業株式会社
〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2
修理サービスに関するお問い合わせ「お客様サービス係」
(フリーダイヤル)0120-337-455　FAX(0256)93-1077
お電話承り時間：平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時
ホームページアドレス　http://www.twinbird.jp

RX0809A

パッケージの確認と取付け概略図

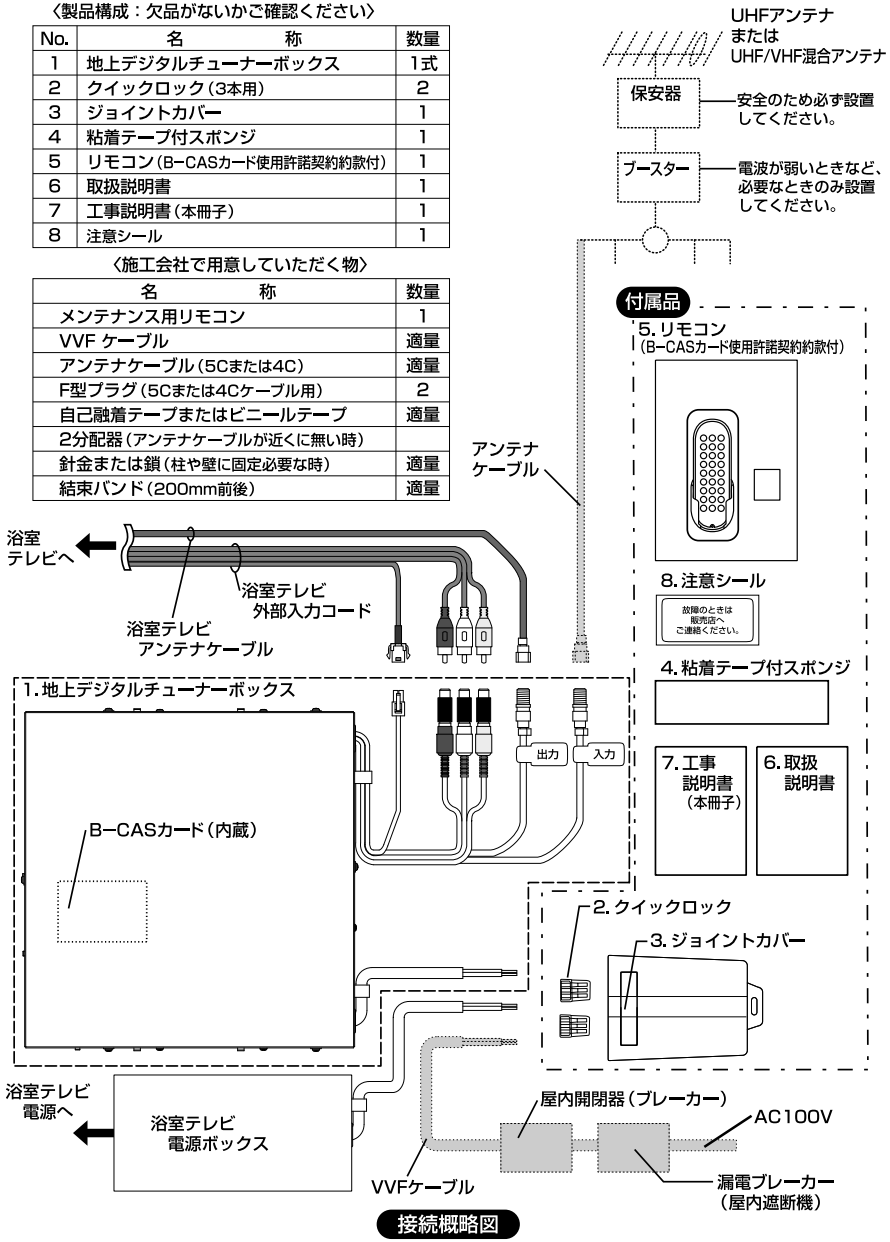
●パッケージ内容

〈製品構成：欠品がないかご確認ください〉

No.	名　　称	数量
1	地上デジタルチューナーボックス	1式
2	クイックロック（3本用）	2
3	ジョイントカバー	1
4	粘着テープ付スポンジ	1
5	リモコン（B−CASカード使用許諾契約約款付）	1
6	取扱説明書	1
7	工事説明書（本冊子）	1
8	注意シール	1

〈施工会社で用意していただく物〉

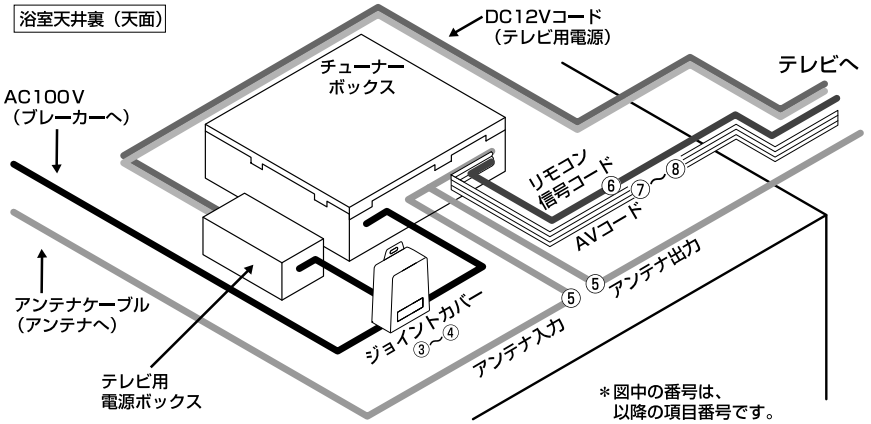
名　　称	数量
メンテナンス用リモコン	1
VVF ケーブル	適量
アンテナケーブル（5Cまたは4C）	適量
F型プラグ（5Cまたは4Cケーブル用）	2
自己融着テープまたはビニールテープ	適量
2分配器（アンテナケーブルが近くに無い時）	
針金または鎖（柱や壁に固定必要な時）	適量
結束バンド（200mm前後）	適量



接続概略図

チューナーボックスの取付け・配線接続

- 屋内AC100V配線は、電気工事士の資格をお持ちの工事業者の方が確実に行ってください。
- 屋内開閉器を切って作業してください。



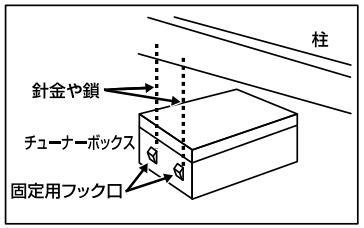
- 設置場所は、発熱する機器の近くや熱がこもりやすい場所は避けてください。
- 湿気、湯気、油気、ほこりの多いところは避けてください。
- チューナーボックスの通風孔をふさがないでください。
- 重い物をのせたり、他の機器を重ねて置いたりしないでください。

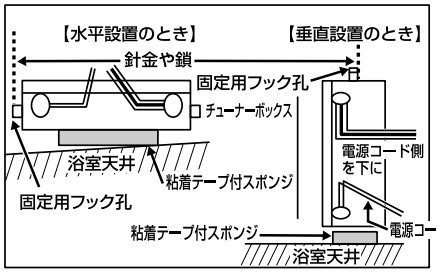
① チューナーボックスを設置する天井裏部分の塵やほこりを取り除いてください。

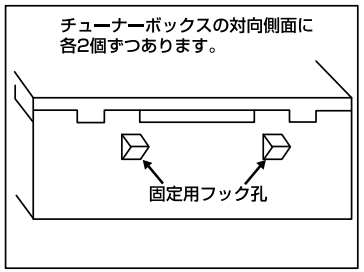
- 天井裏部に設置場所がとれないときは、浴室外の湿気・ほこりが少なく点検修理が可能な場所に設置してください。

② 設置場所にチューナーボックスのフタが上になるように置いてください。

チューナーボックス本体側面の固定用フック孔に針金や鎖などを掛けて柱や壁に固定し、チューナーボックスが水平または垂直になるように調整してください。
垂直設置のとき浴室天井裏に接するチューナーボックスの面に粘着付きスポンジを貼ってください。
（通風孔を避けてください。）

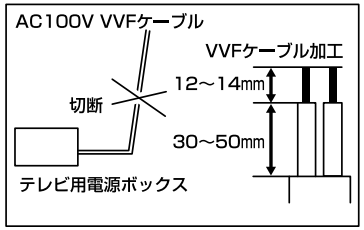






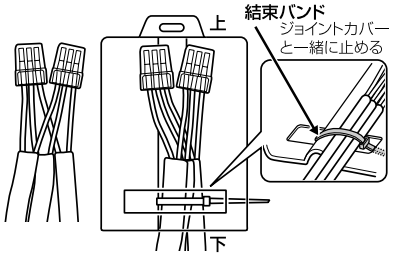
チューナーボックスの取付け・配線接続（つづき）

③ テレビ用電源ボックスに接続されているVVFケーブルを中間で切断し、端末を両方とも右図のように加工してください。

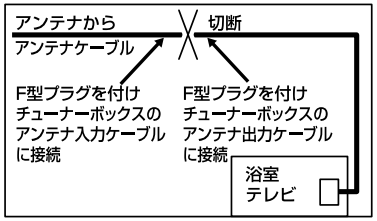


④ 地上デジタルチューナーから出ているVVFケーブルや③項のVVFケーブルを、それぞれの端末を極性に合わせてクイックロックに挿し込んでください。

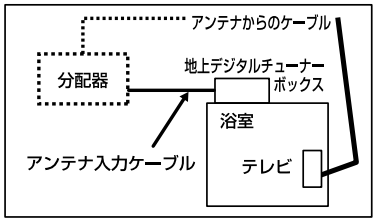
ジョイントカバーをクイックロックの上端に当たるようにかぶせ、ケーブルの外被部とジョイントカバーを一緒に結束バンドで止めます。
ジョイントカバーの開口が下になるように固定してください。



⑤ 次にアンテナからテレビに接続されているアンテナケーブルを適当な箇所で切断し、両方端末にF型プラグを取付け、アンテナから来ているケーブルをチューナーボックスのアンテナ入力ケーブルに、もう一方のテレビに行っているケーブルを出力ケーブルに接続してください。
（F型プラグの取付け方法は6ページをご覧ください）

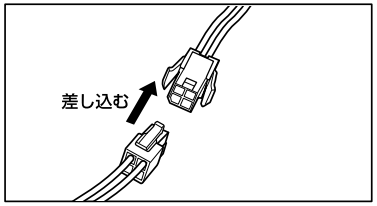


●天井裏にアンテナケーブルが見あたらないときは、アンテナに近い箇所から分配配線して、チューナーボックスのアンテナ入力ケーブルに接続してください。
（分配器が必要になるときは施工会社でご用意ください。）



⑥ テレビから配線されているリモコン信号コードのコネクタ（4ピン）をチューナーボックスから出ているリモコン信号コードのコネクタ（4ピン）に接続してください。

接続部にほこりが入らないように自己融着テープやビニールテープを巻いてください。

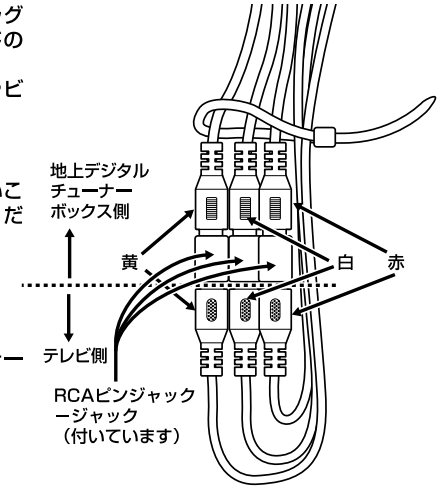


チューナーボックスの取付け・配線接続（つづき）

⑦ テレビに接続されているAVコードの3本のプラグをチューナーボックスから出ているAVコードの同色同士で接続してください。
抜け防止のため、接続部を自己融着テープやビニールテープを巻いて固定してください。

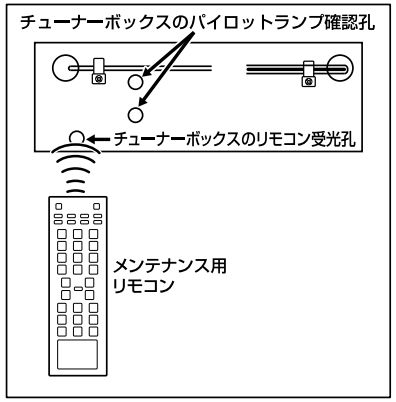
⑧ プラグやコネクタの接続部に抜けや緩みが無いことを確認し、折り返して結束バンドで止めてください。

⑨ 余ったケーブルは、束ねて浴室天井部に粘着テープ等で固定してください。

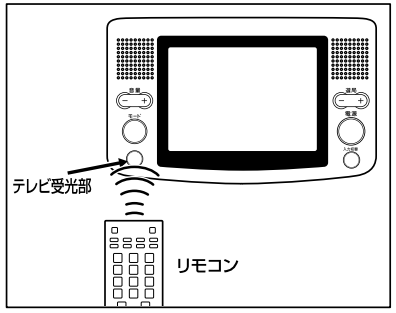


⑩ テレビとの配線が終了したことを確認後、ブレーカーを入れ、次のことを確認してください。

- チューナーボックスのパイロットランプ確認孔から見て地上デジタルチューナーのパイロットランプが赤色に点灯すること。
- メンテナンス用リモコンをチューナーボックスのリモコン受光孔に向けて電源ボタン（赤色）を押し、地上デジタルチューナーのパイロットランプが緑色に変わること。



- 更にメンテナンス用リモコンをテレビの受光器に向けてリモコンの電源ボタン（赤色）を押し、地上デジタルチューナーのパイロットランプが赤色に変わること。
- 地上デジタルチューナーのパイロットランプはリモコンの電源ボタン（赤色）を押すたびに赤色（電源切）と緑色（電源入）に交互に変わります。

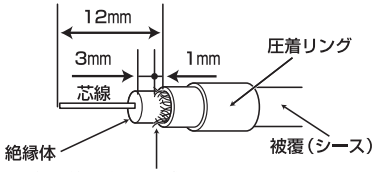


F型プラグの取付け

●浴室テレビ取付け前にアンテナケーブルの事前工事を行う場合は、天井付近に長さ3m程度の余裕を持たせてください。
●適合アンテナ（同軸）ケーブル：5C－2VまたはTVEFCX（4C－2V）
●アンテナケーブルは施工会社でご用意ください。

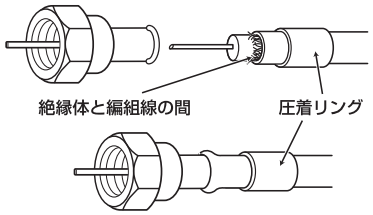
① アンテナケーブル（同軸ケーブル）を下図のように加工し、圧着リングを通します。

●アンテナケーブルが出来るだけたるまないよう長さを調整してから加工してください。

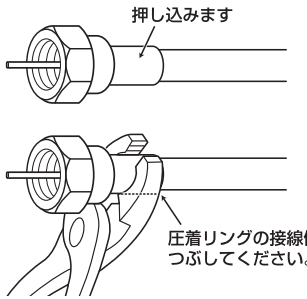


編組線を約1mm残して切り落とします。
（折り返しません。）

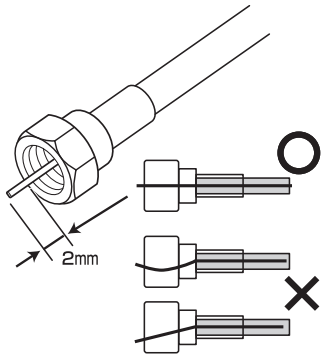
② F型プラグをアンテナケーブル（同軸線）の絶縁体と編組線の間に、奥までしっかり差し込みます。

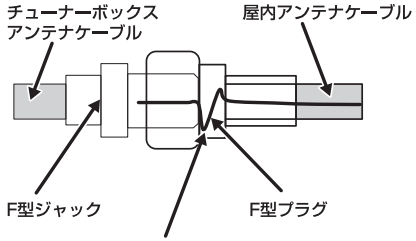


③ 圧着リングをF型プラグと被覆（シース）の上にかぶせ、プラグが抜けないようにプライヤ等で締めつけます。（ペンチを使用する場合はケーブルを切らないよう先端を使用してください。）



④ 芯線をF型プラグから2mm程残し、余分部分を斜めにカットして芯線をまっすぐにし、中心に来るようにします。





芯線が長すぎると、F型ジャック接続時に芯線が曲がり、ショートしますのでご注意ください。

⚠
コードを引っ張ると内部断線を起こしますので、絶対に引っ張らないでください。

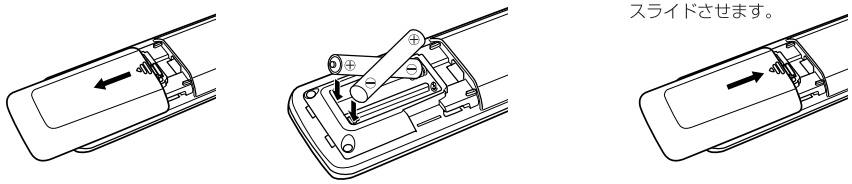
メンテナンス用リモコンの準備

• 電池の入れかた

① カバーを開けます。
カバーをスライドさせてはずします。

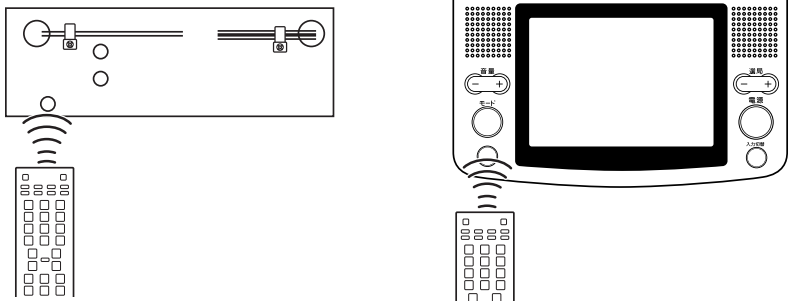
② 電池を入れます。
単4形乾電池2本をケース内の極性表示通りに入れてください。
（＋、－の向きを正しく入れてください。）

③ カバーを閉めます。
カバー上方にあるツメをリモコン本体内部に入れ、パチンと音がするまでスライドさせます。



⚠注意
●指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
●アルカリ電池の液が漏れたときは、素手で触らないでください。

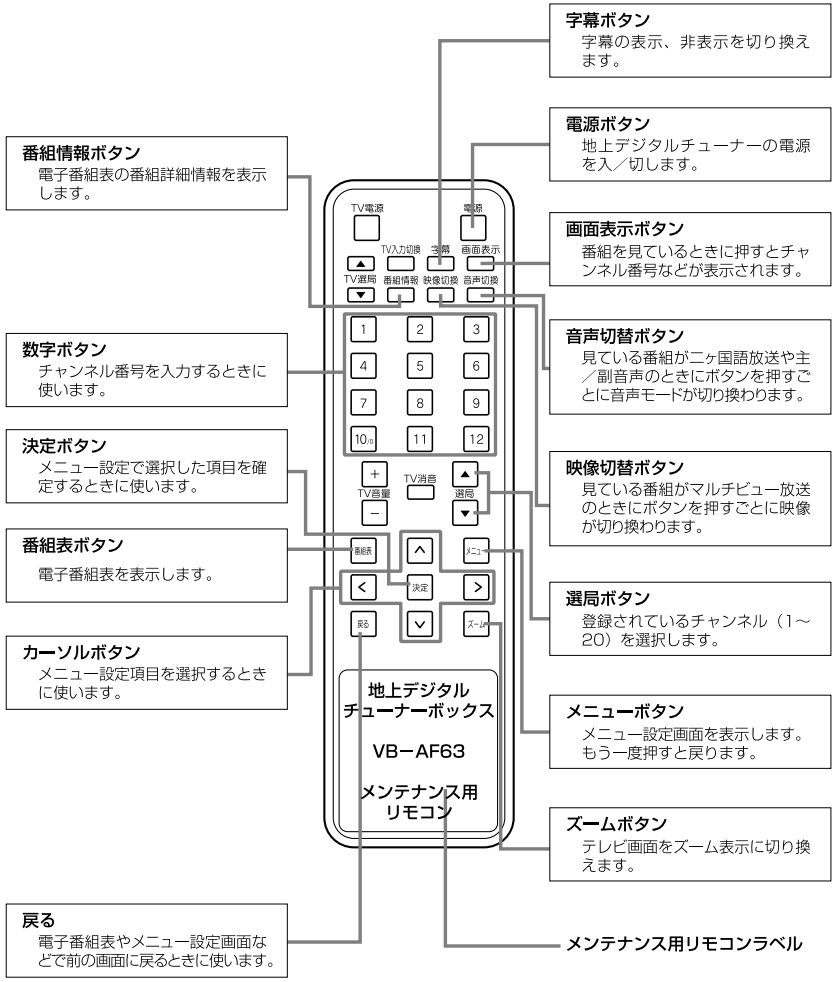
●リモコンの先端部をチューナーボックスのリモコン受光孔またはテレビの受光部に向けて操作してくださ



●リモコン操作で動作しないときは、リモコン電池の寿命が考えられます。
新しい電池に交換してください。
●リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作ができないときがあります。
照明を弱くしたり向きを変えるか、またはリモコンを受光部に近づけて操作してください。
●リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
また、水に濡らしたり温度や湿度が高い場所に置かないでください。
（メンテナンス用リモコンは防水仕様ではありません。）
●長時間使用しないときは、電池を抜いておいてください。
電池の消耗や電池の液漏れによるリモコン故障を防止します。
●電池を廃棄するときは、市町村の指示に従ってください。

メンテナンス用リモコンのボタンの名前と機能

●テレビ操作用のボタンで、８型浴室液晶テレビは操作できません。
●操作説明については、取扱説明書の該当ページをご覧ください。



試運転と初期設定

① 室内開閉器（ブレーカー）を入れた後、メンテナンス用リモコンを使用して次の確認をしてください。

項　目	項　目
1.テレビの電源を入れる	（1）テレビの電源ボタンを押します。 （2）テレビの選局ボタンでチャンネルを選び、浴室テレビのアナログ放送の映像が映ることを確認してください。
2.地上デジタルチューナーの電源を入れる	（1）テレビの入力切替ボタンを押し「外部入力」にします。 （2）地上デジタルチューナーのメンテナンス用リモコンをテレビのリモコン受光部に向けてチューナー電源ボタンを押します。 （3）テレビ画面に地上デジタルチューナーの画像が出るのを確認します。 （3～5秒お待ちください）
3.地上デジタル放送のチャンネルをプリセットする	地上デジタルチューナー用のメンテナンス用リモコンで行います。 （1）「接続テレビ設定」の画面が出たらカーソルボタン▽で「4:3レターボックス」を選択→決定ボタンを押します。 「自動チャンネル設定」画面に切り換わり自動的に受信チャンネルのプリセット動作を始めます。 （2）終わると自動的にデジタル放送受信状態になりプリセットされたチャンネルで数字ボタン「1」に割り当てられたチャンネルが表示されますので、選局ボタン▲／▼でチャンネルを変え、その地域のチャンネルが全て揃っているか確認してください。 （3）受信画面が出ましたらメニューボタンを押して「メニュー」を終了します。
4.「選局」ボタン▲／▼を押す	• チャンネルが前後の局に移動することを確認してください。 • 選局したチャンネル番号が画面右上に表示され正常に映る事を確認してください。 • 一旦地上デジタルチューナーの電源を切り、再度電源を入れたときに、電源を切る直前のチャンネルが映ることを確認してください。

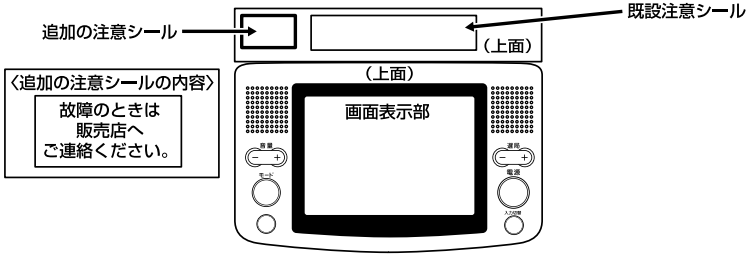
注1）プリセットされたチャンネルが不足しているときは、取扱説明書の自動チャンネル割り当てについて」や「ボタン割り当て変更設定」に従って操作してください。
注2）全くプリセットされないときやプリセットがうまくいかないときは、取扱説明書の「アンテナについて」をご覧になりアンテナ系をご確認してください。（10ページも参考にしてください。）

② 8型浴室液晶テレビと地上デジタルチューナーを動作状態のまま5分間放置し、画像の変化がないことを確認してください。

●メンテナンス用リモコンは、お客様に渡さずお持ち帰りください。
お客様には、付属の**リモコンを密封包装のままお渡し**し、お客様に「B−CASカード使用許諾契約約款」をお読みいただき、**同意のうえでリモコンの包装を開いて**いただくようお伝えください。

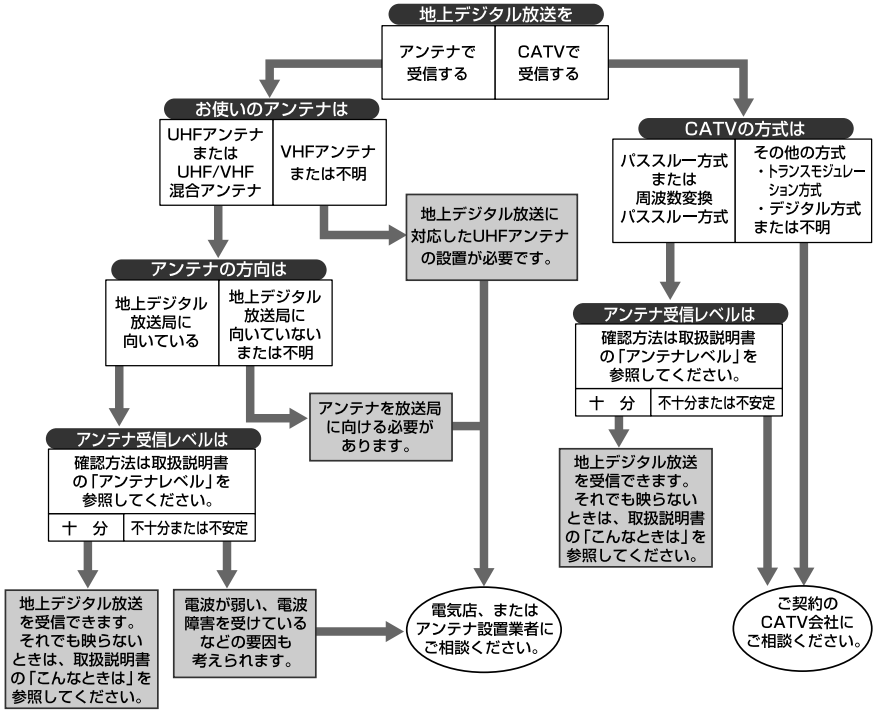
注意ラベルの貼付

●最後に、接続するテレビの筐体の上部左端に付属のラベルを貼ってください。



地上デジタル放送が受信できないとき

地上デジタル放送が正しく受信できないときは、下記のフローチャートに従ってお確かめください。
また、必要に応じて電気店、アンテナ設置業者、CATV会社等にお問い合わせください。



- 本製品はBSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーを内蔵しておりません。
- アンテナの設置や地上デジタル放送に対応したアンテナかどうかについて、詳しくは電気店やアンテナ設置業者等にご相談ください。
- CATVをお使いの場合、詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。
- マンションなど集合住宅の場合、詳しくはお住まいの管理組合または管理会社等にご相談ください。
- 地上デジタル放送は現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので受信エリアが限定されます。
- 受信障害のある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用のUHFアンテナ、デジタル放送対応のブースター、分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル放送局からの送信出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要になることがあります。
- 本製品では地上デジタル放送の電波の送出の変更に関する情報、周波数変更、新規の変更などを電波を通じて受信すると、「お知らせメッセージ」にメッセージが追加されます。それに合わせてチャンネルの再設定を行ってください。

地上デジタルチューナーボックス組立図